
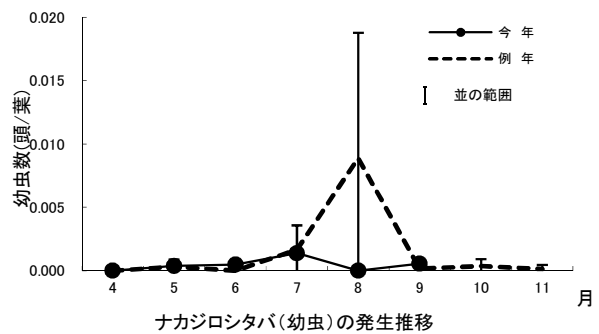
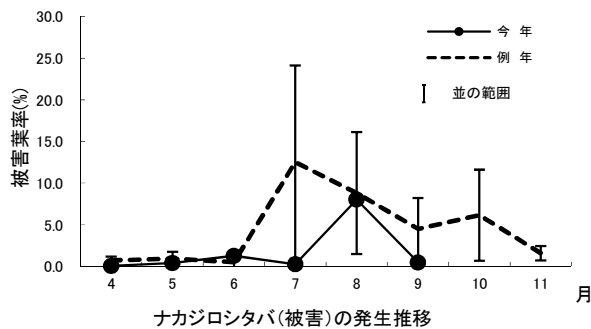


作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	① ナカジロシタバ		
9月の発生量(現況)	やや多		
10月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	幼虫数の例年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。		

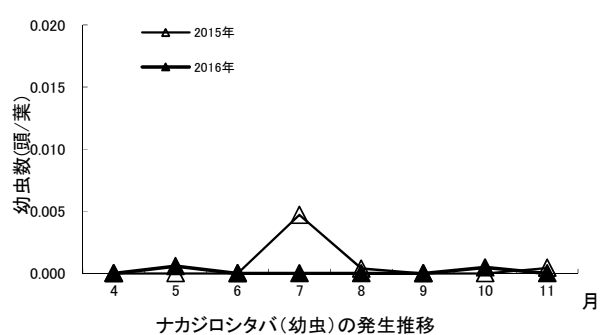
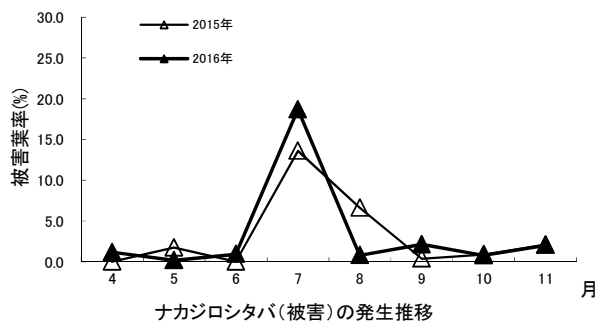
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 9月中旬の調査の結果、被害葉率は0.5% (例年4.5%、前年2.1%) と例年よりやや少なかった。
- ・ 幼虫数は100葉当たり0.1頭未満 (例年0.1頭未満、前年0頭) と例年よりやや多くなった。

(今年のデータ)




(過去2年のデータ)



防除のポイント

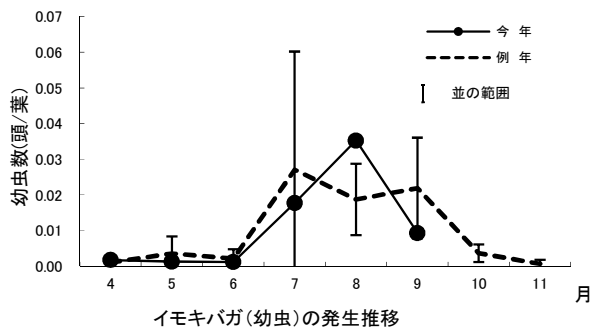
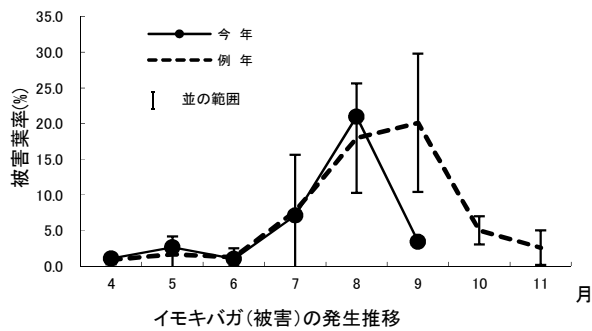
- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	② イモキバガ		
9月の発生量(現況)	並		
10月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	幼虫数の例年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。		

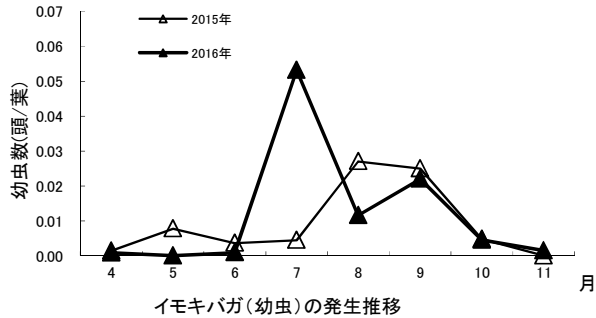
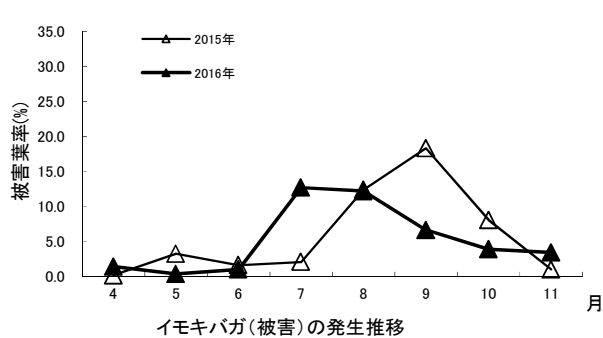
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 9月中旬の調査の結果、被害葉率は3.4%(例年20.1%、前年6.6%)と例年よりやや少なかった。
- ・ 幼虫数は、100葉当たり1頭(例年2頭、前年2頭)と例年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

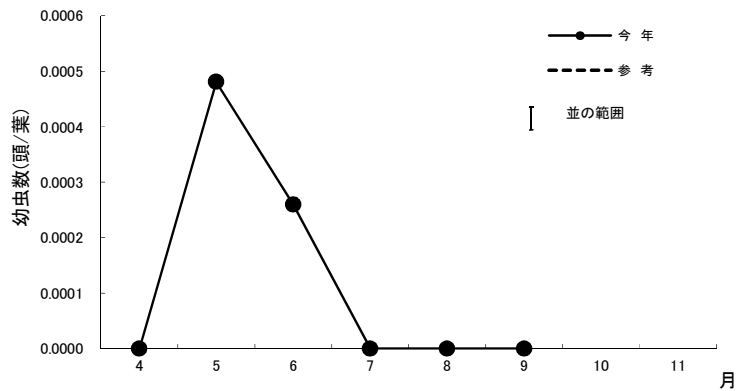
- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。
- ・ つづった葉の内部に潜んでおり、直接薬剤がかかりにくいいため浸透移行性のある薬剤を使用する。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	ハスモンヨトウ		
9月の発生量(現況)	(発生なし) 判定不可		
10月の増減傾向			
増減傾向の根拠	データの蓄積不足のため、判定保留。		

発生量の根拠(調査結果)

- ・ 9月下旬の調査の結果、幼虫数は0頭と観察されなかった。

(今年のデータ)



ハスモンヨトウ(幼虫)の発生推移



若齢幼虫



中齢幼虫



終齢幼虫

防除のポイント

- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。